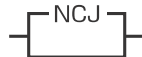


CJ

条件分岐

LABEL命令まで、ジャンプします。

NCJ

無条件分岐

LABEL命令まで、無条件でジャンプします。

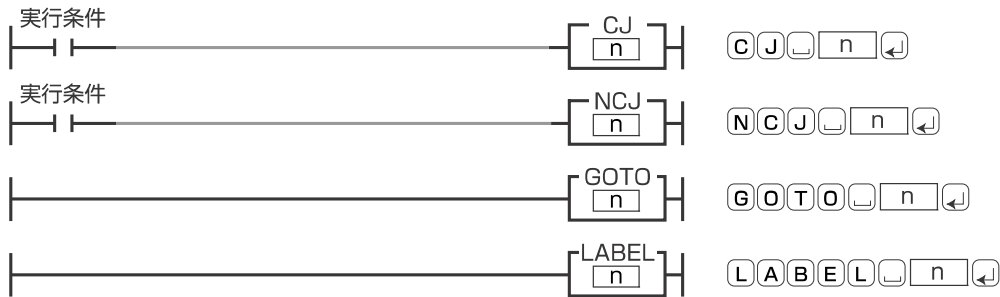
GOTO**LABEL**

ラベル

CJ命令、GOTO命令のジャンプ先を設定します。

ラダープログラム

入力方法



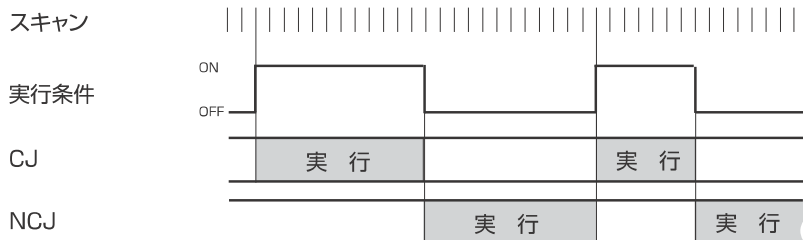
オペランド	使用可能デバイス (): KV-1000は対応していません																	インデックス 修飾		
	ビットデバイス							ワードデバイス							定数	間接指定	ローカル デバイス			
	R	(DR)	MR LR (B)	T	C	CTC	CR	DM TM (W)	EM FM (ZF)	T	C	CTH	CTC	Z	CM	#\$	#TM		*	@
[n]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	*1	-	-	-	-

オペランド	説明
[n]	ラベル番号を指定します。*1

*1 指定可能な範囲は0~999(#記号は省略可能)です。\$(16進数)では指定できません。

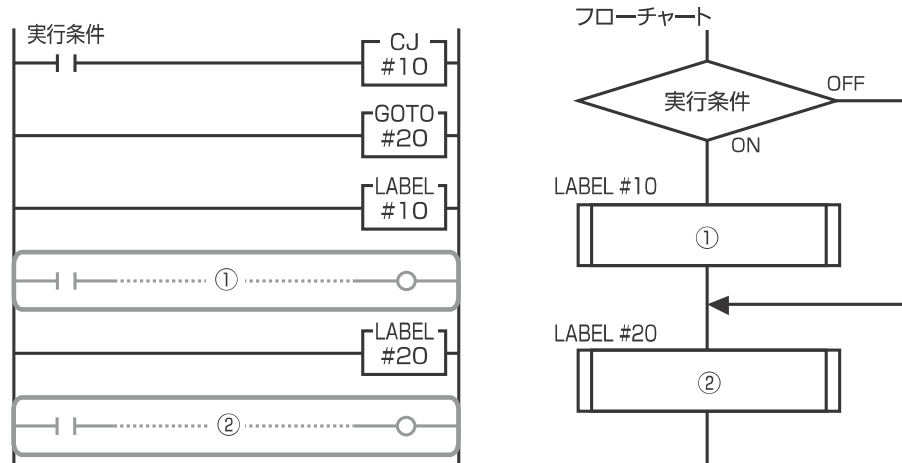
動作説明

- CJ** 実行条件がONのとき、[n]で指定したLABEL命令のある行までジャンプします。
NCJ 実行条件がOFFのとき、[n]で指定したLABEL命令のある行までジャンプします。
GOTO 無条件で[n]で指定したLABEL命令のある行までジャンプします。
LABEL CJ命令、NCJ命令またはGOTO命令のジャンプ先を指定します。



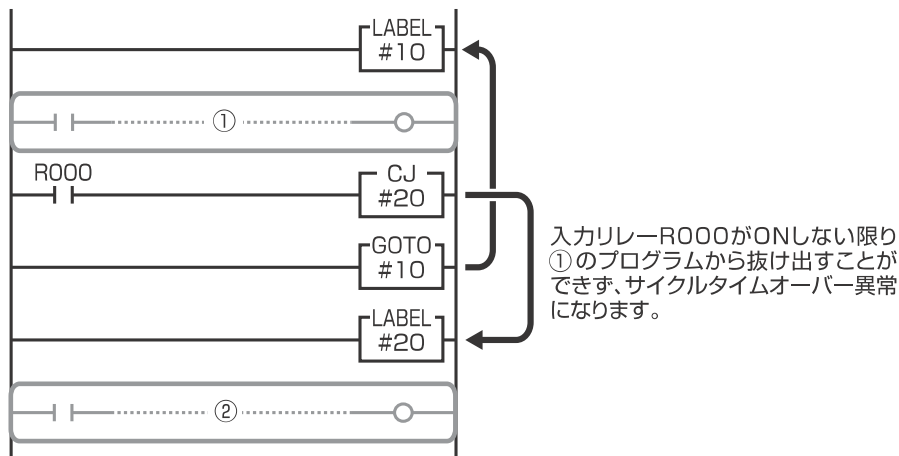
例

実行条件がONのとき、CJ命令で指定したLABEL命令#10へジャンプし①→②とプログラムを実行します。
 実行条件がOFFのとき、GOTO命令で指定したLABEL命令#20へジャンプし②のプログラムを実行します。



！ポイント

- 実行されていないCJ命令/NCJ命令/GOTO命令からLABEL命令間はスキャンタイムに影響しません。
- CJ命令/NCJ命令/GOTO命令で実行中のステップより若いステップへジャンプしたとき、サイクルタイムオーバー(スキャンタイムが300ms以上)にならないように注意が必要です。



- CJ命令/NCJ命令/GOTO命令から LABEL 命令間に微分実行型命令やタイマ命令、マクロ命令を使用するときは注意が必要です。
 - 📖 「微分実行型命令を使用するときの注意」(1-35ページ)
 - 📖 『KV-7000シリーズ ユーザーズマニュアル』「タイマ命令使用時の注意」
 - 📖 『KV-5500/5000/3000シリーズ ユーザーズマニュアル』「タイマ命令使用時の注意」
 - 📖 『KV-1000シリーズ プログラミングマニュアル』「タイマ命令使用時の注意」
 - 📖 『KV Nano シリーズ ユーザーズマニュアル』「タイマ命令使用時の注意」
 - 📖 「マクロ命令」(3-44ページ)
- SBN～RET命令をまたがってジャンプできません。
- モジュールをまたがってジャンプできません。
- [KV-1000] CJ命令/NCJ命令/GOTO命令と LABEL 命令では、必ず一対で使用しなければなりません。
- FOR～NEXT命令間でCJ命令を使用する場合は、同じFOR～NEXT間に LABEL 命令を合わせて記述してください。

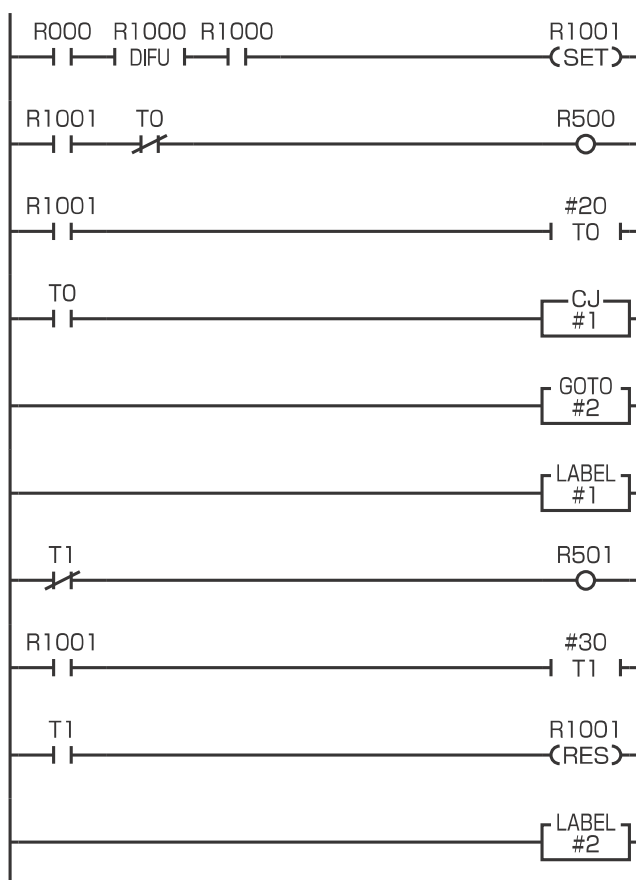
MC
MCR
CALL
SBN
RET
ECALL
FOR
NEXT
BREAK
CJ
NCJ
GOTO
LABEL
SCJ

演算フラグ

CR2009	変化なし
CR2010	変化なし
CR2011	変化なし
CR2012	変化なし

サンプルプログラム

入力リレーR000がONすると、自動的に出力リレーR500が2秒間ONし、続いてR501が3秒間ONします。



〈モニタリスト〉

```
LD R000
DIFU R1000
CON
AND R1000
SET R1001
LD R1001
ANB T0
OUT R500
LD R1001
TMR #0 #20
LD T0
CJ #1
GOTO #2
LABEL #1
LDB T1
OUT R501
LD R1001
TMR #1 #30
LD T1
RES R1001
LABEL #2
```

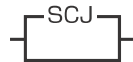
MEMO

応用命令

3

フロー命令

MC
MCR
CALL
SBN
RET
ECALL
FOR
NEXT
BREAK
CJ
NCJ
GOTO
LABEL
SCJ

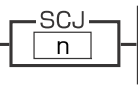
SCJ

条件分岐

LABEL命令までジャンプします。(1スキャンONディレイ付)

ラダープログラム

入力方法



S C J [] n []

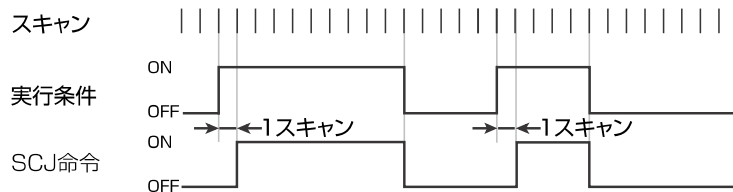
オペランド	使用可能デバイス (): KV-1000は対応していません																		インデックス 修飾					
	ビットデバイス								ワードデバイス								定数	間接指定		ローカル デバイス				
	R (DR)	MR LR (B)	T	C	CTC	CR	DM TM (W)	EM FM (ZF)	T	C	CTH	CTC	Z	CM	#\$	#TM	*	@		:#/:Z				
n	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-

オペランド	説明
n	ラベル番号を指定します。(0~999)*1

*1 指定可能な範囲は0~999(#記号は省略可能)です。\$(16進数)では指定できません。

動作説明

SCJ 実行条件がOFF→ONに変化した次のスキャンからONを保持している間、nで指定したLABEL命令のある行までジャンプします。



参考

その他の動作説明はCJ命令をお読みください。

📖 「CJ命令」(3-38ページ)

! ポイント

SCJ命令をRUN中書き込みする場合は、書き込み完了時にSCJ命令の実行条件がONしていると、1スキャン待たずにジャンプします。

演算フラグ

CR2009	変化なし
CR2010	変化なし
CR2011	変化なし
CR2012	変化なし

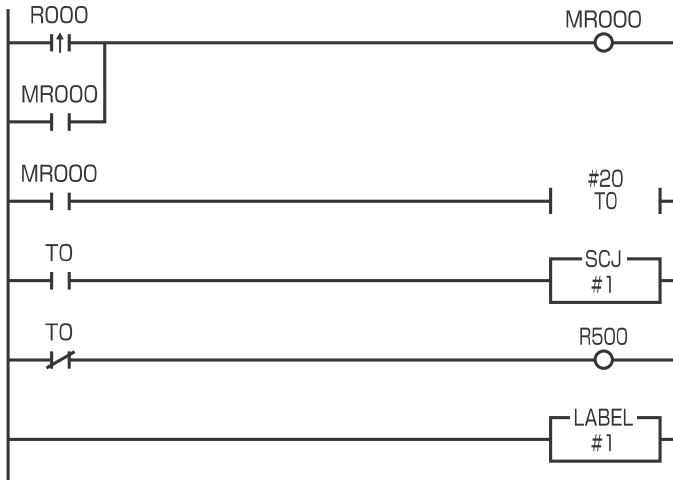
※ [KV-7500/7300/5500/5000/3000] CR2012がONした場合、CM5150~CM5176にエラーの詳細情報が格納されます。

[KV Nanoシリーズ] CR2012がONした場合、CM2250~CM2276にエラーの詳細情報が格納されます。

📖 「CR/CM一覧」(付-71ページ)

サンプルプログラム

「CJ命令」で記述するとR500はOFFしません。「SCJ命令」で記述するとR500はOFFします。



〈モニタリスト〉

```
LDP R000
OR M000
OUT M000
LD M000
TMR #0 #20
LD T0
SCJ #1
LDB T0
OUT R500
LABEL #1
```

応用命令

3

フロー命令

MC
MCR
CALL
SBN
RET
ECALL
FOR
NEXT
BREAK
CJ
NCJ
GOTO
LABEL
SCJ